

# ウォーターセラミック施工方法

株式会社アクアテック

対象 コンクリート無塗装面

## 試験施工

- 小面積で試験施工を行ってください。
- コンクリートは調合の違いによる表面乾燥収縮量、経年差による表面密度の違いで、ウォーターセラミック必要量が異なります。
- 試験施工では必要量を確認が主たる目的となります。

## 周囲の養生

- 洗浄時及び塗布施工時に周囲のガラス、アルミサッシ、植栽、洗濯物、自動車、オートバイ等にウォーターセラミックが付着しないように養生してください。

## 施工面の清掃

### 新築の場合：

- 施工面の汚れ、エフロレッセンス、レイタンス、固いブラシ、皮スキ、温水中圧、ジェット洗浄等で清掃して下さい。
- エフロレッセンスの除去では塩酸の 5～10%水溶液使用の洗浄方法もありますが、ドラマチックな洗浄効果の反面、コンクリートセメントの侵食や酸焼けを起こす危険があります。酸洗いを実施する場合には、事前に相談をしてください。

### バクテリア、藻類、苔類の発生している経年建造物の場合：

- 施工面に対しエアレス、エアースプレーがガンで塗布します。  
この塗布の目的は目地モルタル深部に浸入繁殖しているバクテリアなどの生物の殲滅と生物由来を含む汚れの洗浄（汚れを浮かす）が目的です。
- ウォーターセラミック塗布直後から温水中圧、ジェット洗浄等で清掃してください。  
使用量は1リットルあたり  $2\text{ m}^2\sim 4\text{ m}^2$ 、0.5L～0.25L。（コンクリート表面の密度により異なる）

## 施工面の乾燥

- 水洗いした場合は表面の濡れ色がなくなるまで乾燥させてください。

## 下地処理

- 施工面のジャンカ、コールドジョイント、0.3ミリ巾以上のクラック、欠損部、穴、欠け、欠落日地等は補修してください。

## ウォーターセラミックの塗布

- 施工面が雨や洗浄水で濡れ色を呈している場合は、表面の濡れ色がなくなってから塗布して下さい。又、表面の温度が直射日光などで50℃以上の場合は、日陰の部分から、又は水冷してから塗布して下さい。
- 塗布は刷毛、中毛ローラー、エアレス、エアースプレーガン（手元圧1.5～2kg/cm<sup>2</sup>）で、追っかけ2回（夏場は5分、冬場は10分以内）塗りして下さい。
- 特にローラーで塗る場合は、下から上へしごき上げて液だれがないようにご注意ください。
- スプレーガン等は塗布面に近づけ、ロスのないように塗布して下さい。
- 塗布量が少ないと施工後、吸水（濡れ色）しますので所定量を守ってください。

### 使用量（コンクリート、モルタル）

1リットルあたり4㎡～8㎡、0.25L～0.12L（材質による）

## 後養生

- 塗布後、夏季で6時間、冬季で12時間は、雨や雪等がかからないように養生してください。
- もしも、この間に雨や雪がかかったら塗布のやり直しをして下さい。

## 効果の確認

- 塗布後12時間以降に施工面に水をかけて、浸み込み、濡れ色がでない事を確認して下さい。
- 濡れ色や浸み込みが表れたら塗布量不足ですので再塗布して下さい。